

宮地嘉六 たけふら 小説家。明治十七年六月十一日佐賀縣生れ、昭和二十二年四月十日歿（八八—一九五八）。筆名凡六、嘉六、宮地輝九、旋盤凡兒、汗の人等。職上、軍隊生活、雜誌・新聞記者など。大正二年雜誌『奇蹟』に加はり、爾來『新八論』、『中外』、『中央八論』等の小説を發表。『宮地嘉六著作集』全三卷（昭和五十八年—五十九年慶友社）刊。

著書『煤煙の良心』（大正八年十月十五日大祐社）、『或る職上の手記』（大正九年一月）『十日聚英閣』、『放浪者富藏』（大正九年五月—二十五日新潮社）『新進作家叢書』（、『破捨てた』（大正十一年九月十五日新潮社）『中篇小説叢書』（、『少年の頃・上巻』（合著・小野誠悟編、大正十四年四月）『第一出版協會』『少年少女文學叢書』（、『日本小説集・第二集—昭和二年版』（合著・文藝家協會編、昭和二年五月）『新潮社』、『新興文學全集・第五卷—日本』（宮地嘉六・藤井道澄集・加藤一夫集）、『昭和四年十一月五日平凡社』、『愛の十字街』（昭和五年二月）『日改造社』、『從軍隨筆』（昭和十一年十一月十五日）『赤塚書房』、『職上物語』（昭和十四年十一月）『二十日中央労働學園』、『老殘』（昭和二十年七月）『二十日中央八論社』等。